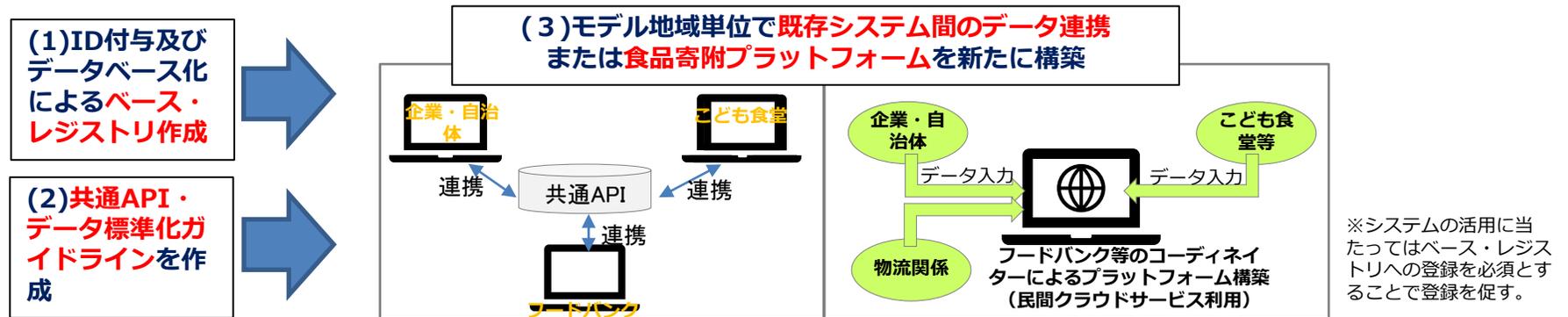


2024年度の事業予定（共通API等を用いた地域単位での食品寄附データ統合に向けた調査・実証事業）

- (1) 関係者と連携し、フードバンクやこども食堂等に係るデータをベースに、ID番号の付与及びデータベース化を図り、ベース・レジストリを作成する。
- (2) 同時に、食品寄附に関わる情報の標準化のためのガイドラインと、食品寄附に関わる情報のシステム間での自動的な連携を図るための共通APIを作成する。
- (3) モデル地域（2カ所程度）で、①既に各ステークホルダーがそれぞれシステムを導入している地域では、システム間で情報連携するためのAPI活用のユースケース、②システムが導入されていない地域では、民間クラウドサービスを利用した食品寄附プラットフォームを構築する。



⇒これらの取組については、官民協議会の下DX分科会（仮）で関係者や専門家の意見を聴きながら進めていく予定

2025年度以降の取組の方向性

- 構築したベース・レジストリを適宜更新するとともに、こども政策や福祉政策など他政策とのデータ連携等について各省との連携を進める。
- AIの活用や物流との連携等、マッチングの最適化や拡大の検討を進める。
- 上記で構築した共通API、標準化ガイドライン、データ連携の手引きや地域版プラットフォームのひな形を各地域に共有、各地域でのシステム化やデータ連携を促す。